

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院における90歳以上の糖尿病患者の実態

2. 研究の対象患者

当院を受診した、90歳以上の糖尿病患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

・ 選択基準

1) 年齢90歳以上

2) 性別不問

・ 除外基準

研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2001年1月1日～2024年3月31日

4. 研究の概要

我が国は超高齢社会に突入し、2030年には高齢化率が31%にも上ると予想され、これに伴い高齢者の糖尿病人口も増加傾向にある。近年、糖尿病の治療は大きな進歩を遂げたが、高齢者においては臓器と個体の老化に伴い治療法の選択に制限がある場合も多い。しかしながら、経年的なインスリン分泌の低下を認め、高齢者糖尿病の血糖コントロール目標の達成のためには、インスリン注射が必要な症例も存在する。そこで、旭中央病院において、90歳以上という超高齢者で治療中の糖尿病患者の実態調査を行う。

5. 研究実施予定期間

2022年11月16日～2026年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、既往歴、合併症、最終観察日、観察項目、入退院日、手術名、手術日、診断名

〔血液生化学的検査〕：血糖、HbA1C、GAD抗体、IA2抗体、ZnT8抗体、Cペプチド、T-CHO、TG、LDL-C、HDL-C、non-HDL-C、UA、BUN、Cre、eGFR、AST、ALT、 γ GPT、CRP、WBC、RBC、Hb、Pit、アディポネクチン、TP、Alb、ChE

〔その他〕：インスリン製剤・GLP-1受容体作動薬を使用の場合、注射を実施する人（本人、配偶者、子、訪問看護など）、認知機能

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者（又は代諾者）個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書

及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 糖尿病代謝内科 荻野淳

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)